

「世界津波の日」制定10周年記念



稲むらの火に学ぶ！ 現地体験ツアー

日 時 令和7年10月25日(土)
〔受付〕 13時00分 〔開始〕 13時30分
場 所 稲むらの火の館
定 員 80名(最大100名)
申 込 電話・WEB
申込期間 9月22日(月)～10月20日(月)まで

入場
無料

プログラム

- 13:30 講演「梧陵の心を伝えます ～防災の原点がここにある～」
広川町日本遺産ガイドの会 語り部 熊野 享(くまの とおる)
(稲むらの火の館ガイドンス講師)
- 14:20 体験ツアー
①稲むらの火の館 館内見学、3Dシアター
②広村堤防、耐久社、濱口梧陵銅像(フィールドワーク)
※雨天の場合、②のフィールドワークは中止
- 16:00 終了

申し込み方法

電話

県危機管理消防課あて電話にてお申し込みください。

〔電話〕
073-441-2273

WEB

下記の申し込みフォームより、お申し込みください。

<https://logoform.jp/form/WEVN/1141474>



知っていますか？ 世界津波の日

世界津波の日は、平成27年の国連総会本会議で日本をはじめ、142か国が共同で提案し採択されました。

また、11月5日が「世界津波の日」に指定されたのは、安政元年11月5日の安政南海地震による津波が現在の和歌山県広川町を襲った際に、稲むらに火をつけることで住民を避難させ、命を救った濱口梧陵の「稲むらの火」の逸話に由来しています。



濱口梧陵

主催 和歌山県・広川町
後援 和歌山県教育委員会



WORLD TSUNAMI
AWARENESS DAY
5 NOVEMBER



稲むらの火の館

梧陵の功績や稲むらの火の物語、津波防災の歩みなどを紹介する施設

梧陵の生家である濱口梧陵記念館と津波災害から大切な生命や暮らしを守ることを学ぶことができる津波防災教育センターがある



広村堤防

安政南海地震の後に梧陵が私財を投じて建設した高さ5m、幅20m、長さ600mの堤防で、昭和南海地震の津波から住民を守った

被災住民を雇用して建設しており、まちの復興にも貢献した



耐久社

梧陵らが開いた剣術や国学などを教える稽古場で、永続を願って「耐久社」と名づけられた

梧陵の没後も教育への熱意は受け継がれ、現在の町立耐久中学校、県立耐久高等学校へとつながっている



濱口梧陵銅像

梧陵の偉業を讃えて昭和42年に建立された銅像

生誕100年にあたる大正9年に旧和歌山県会議事堂前に建立された銅像は、戦争により供出を強いられたため、町民の寄付金などで再建された



〔お問合せ先〕 和歌山県危機管理消防課

電話 073-441-2273 ファックス 073-422-7652